

支援プログラム（児童発達）

事業所名

児童発達・放課後等デイサービスたんぽぽ

作成日 令和7年1月15日

| | | | | |
|-----------|-----------------|--|---------|--|
| 法人(事業所)理念 | | 共に同じ人として共に生きる | | |
| 支援方針 | | 創作活動や外出活動などを通して、お子さまの様々な経験を増やし、個々の可能性を引き出していく 人と関わる中で、社会性やコミュニケーションの大切さを育む | | |
| 営業時間 | | 火～金 10:00～13:00 | 送迎実施の有無 | あり |
| | | 支援内容 | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ○たんぽぽでの活動や友達・先生との関わりを楽しみにして来所する ○お子さまの健康状態を把握・維持し、食事・排泄などの基本的な生活リズムを身につける ○クッキング活動を通して、友達が食べている姿を見て今まで食べたことがなかったもの、苦手なものにチャレンジするなど、食への興味・関心を養う | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ○指先を使った創作活動や季節を取り入れた活動により、楽しみながら想像力を養い、「できた！」という成功体験から達成感を味わう ○室内でサーキット活動や風船バレーなどを楽しんだり、公園に行って季節を感じながら身体を動かしたりして遊ぶ | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ○活動前に日付や活動内容をボードで提示し、数や文字に関心をもつ ○絵カードを通して、活動の流れや感情を知る ○季節に合った創作活動や行事を体験することで、季節や時間の流れを感じる | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ○当番活動を通して、友達や先生に関心をもち、人前で話す力や積極性を養う ○はじまりの会や活動時の説明において、人の話を聞くことを意識する ○「自分が言われたらどう思うか？」を想像し、相手の気持ちを考えられるようになる | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ○職員や友達とふれあい、楽しさや喜びを共有しながら安定して過ごす ○友達との関わりの中で、よいことやよくないことなどに気づき、守ろうとする | | |
| 地域支援・地域連携 | | <ul style="list-style-type: none"> ○法人内事業所（就労継続支援B型、生活介護事業所）との交流活動（ハロウィン、陶芸等） ○保育所、学校、相談支援員との情報共有や調整 ○地域と繋がりながら日常生活を送るために、地域住民の方との交流をもつ | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ライフステージに応じた自立課題の作成（就労に向けた軽作業等） ○保育所、放課後児童クラブへの移行支援 |
| 家族支援 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ご家庭や学校等と連携をとり、日常生活での困りごとや気になることを確認し、必要であればアドバイスを行う（ご本人、きょうだい） ○悩みごとや気づきをいつでも話せる環境を確保し、ご家族やきょうだいの心身の休息や安心感につなげる | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ○法人内外の研修・勉強会への参加 ○定期的な会議で支援の中での気づきや変化などを職員間で共有する |
| 主な行事等 | | クッキング活動、誕生日会、お花見や桃の節句など季節に応じた行事、川遊び、お楽しみ会（夏、冬）、避難訓練等 | | |